

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果

1. 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査の内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語(中学校のみ)）

- 「知識・技能」に関する問題、「活用」に関する問題
- 英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」に関する問題。「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

(2) 生活習慣や学校環境に関する質問紙調査

- 児童生徒に対する調査
- 学校に対する調査

3. 調査の対象 市内26小学校第6学年児童、市内15中学校第3学年生徒

4. これまでの経緯

平成19年度～21年度は悉皆調査、22年度及び24年度は抽出調査及び希望利用方式、25年度からは悉皆調査

5. 調査日 平成31年4月18日（木）

6. 当市の調査結果

(1) 概要

【教科に関する調査】

- 小6国語の平均正答率は、全国平均と比べて、「同程度」といえる。
- 小6算数の平均正答率は、全国平均と比べて、「低い」といえる。
- 小学校の正答数分布グラフからは、中、下位層の割合が高く、上位層の割合が低い傾向が見られる。
- 中3国語の平均正答率は、全国平均と比べて、「同程度」といえる。
- 中3数学の平均正答率は、全国平均と比べて、「同程度」といえる。
- 中3英語の平均正答率は、全国平均と比べて、「やや低い」といえる。
- 中学校の正答数分布グラフからは、中位層に多く集まり、下位層と上位層の割合が低い傾向が見られる。

【生活習慣や学校環境に関する質問紙調査】全国平均と比較して、上下10ポイント以上の項目

- 「先生が、あなたの良いところを認めてくれる」と答えた割合が高い（小6）（中3）
- 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と答えた割合が高い（小6）（中3）
- 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」と答えた割合が高い（小6）（中3）
- 「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と答えた割合が高い（小6）
- 「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」と答えた割合が高い（中3）
- 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と答えた割合が高い（中3）

(2) 分類・区分別の集計結果

【国語】

分類	区分	小学校	中学校
学習指導要領 の領域等	話すこと・聞くこと	やや低い	同程度
	書くこと	やや低い	同程度
	読むこと	同程度	同程度
	言語文化と国語の特質	同程度	同程度
問題形式	選択式	やや低い	同程度
	短答式	やや低い	同程度
	記述式	同程度	同程度

【算数・数学】

分類	区分	小学校	中学校
学習指導要領 の領域等	小：数と計算 中：数と式	低い	同程度
	小：量と測定 中：図形	低い	同程度
	小：図形 中：関数	やや低い	同程度
	小：数量関係 中：資料の活用	低い	やや低い
問題形式	選択式	やや低い	同程度
	短答式	低い	同程度
	記述式	低い	同程度

【英語】

分類	区分	中学校
学習指導要領 の領域等	聞くこと	同程度
	話すこと（参考値）	—
	読むこと	同程度
	書くこと	低い
問題形式	選択式	同程度
	短答式	低い
	記述式	同程度

- ◆ 当市では評価基準として、全国平均正答率と比較して「+5以上」を「高い」、「+3以上～+5未満」を「やや高い」、「+3未満～-3未満」を「同程度」、「-3以下～-5未満」を「やや低い」、「-5以下」を「低い」としている。

7. 今後の対応

- ◇ 低学力層の児童生徒が全国平均と比べて多い。授業の中で話し合ったり、自分の考えを深めあったりしている実感が多い傾向を生かして、対話を生かした思考力・判断力・表現力等の育成をするために、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業へと授業改善を図る。
 - ・学力向上推進委員会（国語、算数）による授業研究実践
 - ・「授業改善プロジェクト事業」における、プロジェクトチームを中心とした授業改善の推進
 - ・hyperQ-U検査を活用した学び合う集団づくりの推進